

臨床検査専門科目	病因・生体防御検査学					
		1単位	実習	平成30年度	前期	3年次
臨床検査学科	必修					
科目名	輸血・移植検査学実習 Practice of Blood Transfusion and Transplantation					
担当教員	◎畑中徳子 学内教員 南睦 高田旬生					
目的	輸血や移植医療に重要となる赤血球膜上抗原の検査種、検査の基礎と臨床が直結した輸血・移植の実例を通じて臨床への適応、重要性、臨床的意義について学ぶ。					
目標	輸血検査、移植免疫についての基礎知識を習得し、その重要性や臨床的意義を理解できる。					
他科目との関連	輸血・移植検査学(演習)、免疫検査学(演習)、免疫検査学(実習)					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	レポート	レポート内容。				0.8
	その他	実習作業時の効率性、実習態度。				0.2
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	最新臨床検査学講座免疫検査学（医歯薬出版：ISBN978-4-263-22369-7）					
参考資料	輸血学（中外医学社，2004），JAMT技術教本シリーズ 輸血・移植検査技術教本（日本臨床衛生検査技師会，2016），スタンダード輸血検査テキスト（医歯薬出版株式会社，2013）					
備考 (受講上注意、 事前学習等)	教科書とプリントを中心に実習を行う。					